

# ESCAPE TO NOWHERE



原子力発電所大国はアメリカで104基あります。アメリカのカリフォルニア州とほぼ同じ陸地面積の日本には54基の原子力発電設備があり、世界で3番目です。分布密度が高く、しかも日本は地震活動期に入っていますから、危険度が高いことが分ります。

アメリカは1979年3月のスリーマイル島原子力発電所事故以来、新設計画はストップしています。日本は現在11基の新設計画があります。

東京電力福島第一原発事故により、地震・津波による事故で危険とされている中部電力浜岡原発は、稼働が停止となりましたが、新設計画の見直しは現時点では決まっていません。



日本の国土は放射能の危険範囲に覆われています。

1986年には人類史上最悪の原子力事故であるチェルノブイリ原子力発電所事故が発生しました。広島型原爆の500個分に相当する放射能の放出があり、福島原発は50個分に相当する放射能が放出されました。

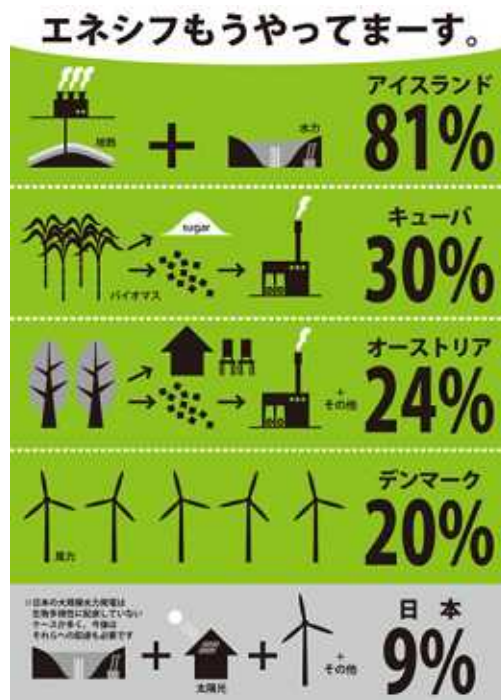
放射能による被害は多量の放射線量を被曝する急性障害ではありません。25年も経過したチェルノブイリでは、現在も白血病や甲状腺がんなどの固形癌が発病し、現在も半年に1回の健康診断が継続されています。

原子力発電所は稼働中に放射能と熱を放出します。微量の放射線物質を体内に取り込むと、恒常的な体内での低線量被曝により、細胞・DNAを傷付け、ガンなどを誘発します。海に放出される温排水の年間総量は1000億トンにも達します。海洋の生態系を破壊し、温暖化にも影響します。

アメリカにおける疫学調査では、原子炉施設のある地域では他の地域の5～6倍、ガンの発症が増えている報告があります。

使用済み核燃料を含む放射性廃棄物の最終処理所も決まらず、青森・六ヶ所村で貯蔵されたままです。再処理工場では、核兵器材料となるプルトニウムを取り出します。

原子力発電は『核エネルギーの平和利用でなく』、『環境に優しくない』ことを知っておく必要があります。



子どもたちの未来のために、脱原発を1日も早く進めて「自然エネルギー」への転換が必要です。  
**基地も原発もいらない！市民から声をあげて平和な世界を創ろう！**